

自分の人生、自分が主人公たれ!

授業中に「偏差値二〇以上あげて志望校に合格した女子の先輩」の話をする、生徒は感動してくれる。中には涙を流しながら聞いてくれる生徒もいる。なぜその先輩の話はそれほどまでに生徒の心を揺り動かすのだろうか?それは、彼女が志望校を受験すると決断してから合格に至るまでに、苦悩と葛藤の連続があったからである。できることは全てやっている。でも模試ではE判定しか出ない。その度に彼女は挫折するが、

「自分の第一志望校に向かう意志はこんなものなのか?」と自問し続け、困難を乗り越えていった。彼女はどんなに挫折しよう、と、度重なる困難に直面しよう、強い意志を持って、自分の道を切り拓いていったのだ。

彼女は苦悩や困難に直面し葛藤し続け、何度も挫折しては何度も立ち上がった。そこに感動があるのではないだろうか。もしも彼女が苦労もなく普通に勉強して、偏差値二〇以上の志望校に合格することができたと、トントン拍子に事が進んでいっただけであれば、感動は生まれまいだろう。



どんな映画やドラマ、マンガにゲームだって、必ず主人公がいる。主人公には必ず敵や壁が存在する。サッカーで、キーパーもディフェンスもないゴールにシュートを決めてもおもしろくない。ボーリングで、どこに投げてでもストライクですよ!なんて何がおもしろいのだろうか。映画やドラマだって、主人公が順風満帆な人生を送りました、チャンチャン♪では感動はない。また主人公が敵や壁から逃げてばかりいても感動はない。例えば、発行部数三億二千万部を超えているマンガ「ワンピース」のルフィが、強い敵の前に逃げてばかりいたら、そんなマンガがここまで世界中で愛読されるようになるだろうか。例外なくどんな主人公にも敵や壁、苦悩や葛藤があり、それを乗り越えようと、ときにはもがきながら立ち向かっていく。その姿に人は感動するのだ。苦難・災難・困難などがない「無難」な主人公などいない。そんな人生では、豊かにならない。偉人たちも同じ。伝記を読めば、「無難」な人生を送っている人はひとりとしていないとわかる。「難」はあなたの人生を彩るために必要で、難が有ることは「有難い」ことなのだ。そこから逃げずに果敢に立ち向かっていってほしい。

力を発揮するのが難しかったはずだ。野球を楽しむためにも、人並み以上の練習を重ねてきたはずだ。打てないなら練習するしかない。それでも打てないなら練習が足りないだけ。誰よりも早くから、誰よりも遅くまで練習する。イチロー選手だって、野球を「楽しむ」ために「楽」なんてしているわけがない。勉強でも単語が覚えられないと自分の記憶力の悪さを嘆く受験生がいる。記憶力が悪いのではない。練習が足りないだけだ。英文が読めないと嘆く受験生もいる。それも同じ。英文を読む練習が足りないだけだ。英文を読むのが困難なのは、今の自分にとっては困難なだけであって、練習量をこなしていけば必ずスラスラ読めるようになる。そんな時間がないと嘆くなら、一日の勉強時間をもっと多く確保しなさい。それができない、楽をしたい、と言うのであれば、「楽をするのか?」「志望校をあきらめるのか?」「どちらかを選ばなければならぬ。第一志望校は楽して合格できるようなところなのか? 頑張つて、ガンバつて、がんばつて、やっと合格できるのが第一志望校なのではないか?」

確かに受験は辛いことがたくさんある。でも辛いからこそ成長がある。感動がある。辛いのはあなただけではない。過去の偉人も先輩たちも周りにいる友達だって同じ。困難や壁に直面しているときは、あなたの意志の強さが試されているとき。できるか、できないか。そんなのは誰にもわからない。だから、誰かに無理と言われても、模試でE判定だろうと、あきらめる必要なんてまったくない。大事なことは、自分がやりたいかどうか。あきらめなければ、思いは現実になるから。だから、できるかできないかを考えるのはやめよう。「どうしてできないのか?」その問いはできない理由を見つけないから。「どうすればできるか?」と問いかけよう。強い意志を持ってその答えを求めていけば、きっと道は開けるはずだから。「あなたの人生は、あなたが主人公。」困難に立ち向かう強い意志を持つよう。いま辛くて苦しくて流している涙は、必ず春に、歓喜の涙に変わるから。あなたが主人公であるあなた的人生が、感動的なハッピーエンドを迎えますように。

創学舎へ通ってくれているみなさんへ②

(櫻村)



●君たちは、最近「知識のアンテナ」をはって、考えているだろうか?

学習していることの意味を、その背景を探っているだろうか。

本年度の夏から、小学生は、百一首を覚えていきます。



毎回、毎回、一生懸命覚えて来てくれる小学生を見ていて、私はとても嬉しく思っています。そして、とにかく懸命に覚えてくる生徒を見ていて、こちらも一生懸命、何かに取り組む勇気をもたらしています。

●さて、百人一首のテストをしていて感じることは、現代語ではない言葉が数多く出てくるの

で、全く聞き覚えのない言葉や、意味が連想できない言葉は、「非常に覚えづらい」ということです。たとえば、百人一首、十四首め「陸奥のしのぶもぢずり 誰ゆゑに 乱れそめにし われならなくに」陸奥(みちのく)の意味が「東北地方」だということは、いいですよ。次です。しのぶもぢずり???なんのこどかさっぱり検討もつかないですよ。このような場合、皆さんならどのように行動しますか?

私は、このように助言しました。やみくもに、「しのぶもぢずりくしのぶもぢずり」とお経のように唱えていた小学生に対して、「しのぶもぢずり」ってどんな意味なんだろうね?調べてみよう!「しのぶもぢずり」とは、現在の東北、福島県で作られる乱れ模様を染めた衣のことなのだそう。意味が分かると「どんな衣の模様なんだろう?」「模様をみてみたい!」と少し興味がわいてきませんか?とにかく頭につめこむよりも、はつきり記憶に残りますよ。

●また、創学舎我孫子教室ベテラン事務の方(非常に博識!)とお話をしていて、こんなことがあります。「荒城の月」の歌詞って知っていますか?「♪春高樓の花の宴」という歌です。一番の歌詞の最後に「♪昔の光今何處(いずこ)」という歌詞があります。これは、歌でメロディがあるので、頭に入ってきたのですが、これも、「昔の光っていつのことだろう?」

「歌の背景には、どんな歴史があるのだろうか?」と興味のアンテナをはって調べただけで、知識の幅が増えますよね。さらに、



この曲はお城のことを歌っていて、「♪昔の光」から、昔は栄えていたのに、今は、その栄光は、いずこ(どこ)へいつてしまったのだろうか? :と作者が嘆いている歌なのです。そうすると、「どんなお城で城主は、誰だったのか?」「どうしてお城は廃れてしまったのか?」と突き詰めていくと、学習は本当に面白くなっていくと思えます。ぜひ、疑問に思ったことは、調べてみましょう。

●このように、創学舎に通ってくれている皆さんには、ただやみくもに、いやいやに暗記するのではなく、「知識へのアンテナ」を上手にはつて、「真の学び」を数多く体験してほしいと思っています。時間をかけずに覚えたものは、時間をかけずに頭から消えてしまいます。

●君たちが、そのようなアンテナをはれるように、講師一同、また今日も頑張っていきたいと思えます。今年の冬は、寒いそうです。お互い、体調を崩さずに、毎日一生懸命、学んでいきましょう。(関野)

将来の夢

「あなたの将来の夢は何ですか?」

ありふれた質問ではあるが、答えるには勇気のいる質問である。あなたならこの質問に対し、堂々と胸を張って、はつきり自分の言葉で答えられるだろうか。



創学舎では年に二回、中学生を対象に簡単なアンケートを実施している。その設問の中に「将

来の夢」という欄があるのだが、空欄のまま提出してしまう生徒も多い。

気持ちちはわかる。自分の夢を言葉にするのは照れ臭い。今の自分と、夢とのギャップが大きいと誰かに笑われるかもしれない。夢が叶わなかったら恥ずかしいし、嘘つき呼ばわりされるかもしれない。しかし、それでもやはり夢は言葉にして欲しい。

「そういうお前はなんだ!?!」とツツコミが入りそうなので、ここからは少し、私の夢にお付き合い願いたい。

幼少時の私の夢は「仮面ライダーになること」であった。古いアルバムを開くと、そこにいる私は例外なく仮面ライダーの変身ポーズを決めている。当然その夢は実現していないが、いまは年に一度、創学舎のハロウィンイベントで変身しているので満足はしている。



小学校の卒業アルバムに書かれた将来の夢は「メジャーリーガー」になってヒットを三千本打つこと」であった。イチローに先を越された私の夢は、どうやら叶いそうにない。叶いそうにはないが、だからといってなんの負い目も恥ずかしさもない。むしろ大きな夢を持つていた自分自身が誇らしい。

中学校の卒業アルバムには「夏の甲子園で全国制覇」と書いてある。中三の八月からずっと言い続け、追い続けたこの夢も叶わなかった。しかし、夢を追いかけて一生懸命練習した日々はとても充実していたし、そこで学んだことは



今も大いに役立っている。

大学時代の夢は中学校か高校の野球部の顧問になること。野球を続けながら教員免許を取るための勉強をした。また、教育実習などの実習やボランティア活動を経験した。学費を賄うためにはアルバイトも必要だったので、お好み焼き屋さんのアルバイトも経験した。それらの経験を通して、私は「野球を教えること」よりもむしろ「人と関わること」が、しかも「子どもと関わること」が好きなのだ。そこで私は一度野球から離れることに決め、子どもと関わる仕事である今の塾講師という職業にたどり着いた。



今の私にも夢がある。それもたくさん。庭付きの戸建てマイホームが欲しい。そこで犬を飼いたい。富士山に登りたい。東京フルマラソンで完走したい。地元の友人たちと草野球チームを作りたい。そして東京ドームで試合がしたい。そこでホームランを打ちたい。ヤンキースタジアムで野球観戦してみたい。ザギンでシースーを食べたい。卒業生の結婚式に出席したい。両親を北海道旅行に連れていきたい。石原さとみと付き合いたい……。

夢は必ず叶うわけではない。叶わなくても負けではないし、恥ずかしくもない。途中で変わってもいいし、たくさんあってもいい。もっと気軽に、もっと自由に、夢を語ろう。(高寺)

▼▲継続希望の方へ▲▼

▶退塾や転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望があれば創学舎ニュースを無料でお送りいたします。
▶在籍していた教室までご連絡ください。